

平成30年度 教員免許状更新講習

	講習の名称	担当講師	講習の概要	講習日	対象職種	主な受講対象	受講人数
必修講習	学校と子どもをめぐる教育の最新事情と発達の問題・支援の方法	西谷 健次 小林 千枝子 小川 節子 伊藤 弘夫	教育・保育政策の現状、教育の最新動向と課題について、理論的・実践的に講義していく。また、近年とみに必要性が指摘されてきている教育相談と特別支援学校教育のあり方についても、統計資料を踏まえて解説する。	平成30年7月28日(土)	教師	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教育	154人

選択必修講習

①	教育相談	西谷 健次 牧 裕夫	この講習では、保護者と通訳を通して、中学生・高校生の問題行動の現状とその背景を理解するとともに、教育相談を進めていく上で必要となる技術の向上を図る。受講者には、改めて教育相談の基礎・基本に立ち返っていただき、日々の教育相談活動におけるいじめや登校等の問題理解の仕方や生徒・保護者への対応などについて再考していただきたいと考えている。	平成30年8月4日(土)	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	63人
②	子どもとともに作る楽しい英語の授業	クイン・マシュー スミス・クリス	本講習は、小学校での「外国語活動」等の授業において、子どもたちが英語に興味を持てるような授業をつくり、教師が自信を持って英語を教えられるようになることを目的とする。内容は次の5つである。①授業で使える英語ゲームの紹介およびワークショップ、②リスニング、③ALTとの関係作りとALT活用の仕方、④英語の教え方Q&A、受講者の疑問へのアドバイス、⑤授業体験・年間指導計画と具体的授業内容。教師自身が英語を楽しむ講習としたい。	平成30年8月4日(土)	教諭	幼稚園・小学校教諭	51人
③	基礎から学べる道徳教育の理論と授業実践	澤邊 弘 九津見 幸明	この講習では、まず学校における道徳教育の目的や意義などについて考え、その上で教科としての道徳の授業をどのように実践していくかについて基本的な内容から具体的に考えていく。特に、児童・生徒が、道徳的価値をどこまでも問いつけながら、興味関心を持って楽しく学べる道徳授業のさまざまな工夫をわらい、集団、言語活動、評価など)について具体的な展開事例を紹介し、またワークショップを取り入れながら受講生とともに検討していく。	平成30年6月6日(土)	教諭	小学校・中学校・特別支援学校教諭	49人

選拔講習

①	子どもと楽しむ音楽	長澤 順 井上 修	本講習では、子どもの目線で捉えた音楽がどのようなものであるかを理解し、指導者と子ども双方が楽しめる新たな音楽活動の可能性を探る。特に、指導者と子どもと無理のない音楽指導を行うためにどのような方法があるかを考察し、幼稚園・小学校で扱う音楽教材を実際に用いた歌唱や音楽遊び等の演習を行うことにより、様々なパターンの音楽活動の方法を検討する。	平成30年8月1日(水)	教諭	幼稚園・小学校教諭	44人
②	小学校の国語と算数	大橋 幸雄 高柳 秀史	新学習指導要領(小学校・中学校)国語科のポイントを確認した後、「子どもにも教諭にも見える国語の授業づくり」をテーマに、具体的な教材を挙げてグループごとに教材研究、授業研究を行い、全体で検討し合う。算数に関しては、数や図形などの性質をもう一度振り返って考え、子どもにも、小学生を教える上でも知っておきたい方程式の基礎知識などを再考する。	平成30年8月1日(水)	教諭	小学校教諭	50人
③	神経発達症(発達障害)のある児童・生徒を支援する方法・学校でできる困難の見立て、対応を学ぶ	菅浜 浩二 日高 茂輔	本講習では、神経発達症(発達障害)のある児童・生徒が学校や保育の場面で示すさまざまな問題について、どのような要因から生じて、どのような対応すれば良いのかを検討する。具体的に1は次の2点に焦点を当てて事例を交えながらすすめる。①行動問題に対するアセスメントとその予防や対応、②神経発達症のある子どもが日常で受けやすい心理的ストレスの具体的な体験、ストレスをなくする関わり方、環境づくり。	平成30年8月2日(木)	教諭	幼稚園・小学校・中学校 高等学校・特別支援学校教諭	70人
④	学校教育におけるスポーツの多角的な活用	関根 正敏 小林 育斗	運動参加頻度の二極化や低下が指摘される今、学校教育における体育の役割の1つとして、子どもの体力・運動能力の向上があげられる。また、体育・スポーツに関連する活動は、体力向上以外にも、運動者の育成や社会的スキルの習得といった観点から、様々な教育場面でも応用できる。この講習では、こうしたスポーツの多角的な活用可能性に着目し、教育上の課題解決に向けた方策や「体育・スポーツ」という切り口から考察する。	平成30年8月2日(木)	教諭	幼稚園・小学校・中学校 高等学校・特別支援学校教諭	55人
⑤	青年の社会的自立と主権者教育	小林 千枝子 木村 直人	青年期は子どもが大人に向かって大きく脱皮する時期である。ところが、現代では様々な理由から大人になりにくい者が増えてきている。その一方で、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、青年の社会参加の低年齢化が進んだ。本講習では、青年期の歴史的背景と現代的課題問題、主権者としての役割と意義、学校における主権者教育の位置づけと課題などを概観しううえで、消費生活問題等現代的諸問題を題材にしてワークショップを行う。	平成30年8月3日(金)	教諭	小学校・中学校・高等学校 特別支援学校教諭	60人
⑥	学校教育における防災・減災意識の向上と取組み	牧 裕夫 稲葉 茂	東日本大震災や平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨」による被害など、災害に対する社会の危機意識が広がっている。そのような状況の下、教育及び地域社会の拠点としての学校における防災教育・安全教育、災害時の避難所の役割などへの期待が高まっている。しかし、多くの学校の現場では、これらの問題に対する備えができておらず、教職員は不安を感じている。本講習では、こうした不安に際するため、地域の安全と教育の役割、災害の危険性について、発生災害時の対応、避難所運営などを机上訓練により学ぶものである。	平成30年8月3日(金)	教諭	幼稚園・小学校・中学校 高等学校・特別支援学校教諭	59人